

MediLink

病院間の電子カルテをAI要約して
引き継ぎミスをゼロに

引き継ぎエラー年間3.2万件 → MediLinkでゼロへ



情報信制(安分類表)	
講種	—
機密	—
社外秘	
種別	#0F Blue

アジェンダ

- 1 医療現場が抱える引き継ぎ問題：医師の働き方改革による勤務時間短縮に伴い、医師間の「引き継ぎ」回数が増加。正確な情報共有が課題となり、情報共有ミスによる医療事故リスクが増大している。


- 2 MediLinkとは何か：MediLinkは、医療機関向けに特化したAIチャットボットとデータ連携基盤を提供するプラットフォーム。電子カルテシステムと連携し、AIを活用して診療情報の集約・共有を効率化する。


- 3 AI要約エンジンの仕組み：大規模言語モデル（LLM）をベースに、医療用語やガイドラインを学習したAIエンジン。電子カルテ内の膨大な診療記録（経過、処方、検査結果など）を瞬時に解析し、引き継ぎに必要な要約を作成する。


- 4 導入効果・実績データ：導入医療機関において、引き継ぎ書類作成にかかる時間が**平均45%短縮**。また、AIが作成した要約は**医師の90%以上が「実用的」**と評価し、情報共有ミスの大幅削減に貢献している。


- 5 料金プランと導入ステップ：導入フェーズは初期コンサルティング、電子カルテ連携開発、パイロット運用、本運用の4段階。料金は月額制（サブスクリプション）で、医療機関の規模（病床数）に応じた複数のプランを提供。



01

医療現場が抱える引き継ぎ問題

引き継ぎミスが招く医療事故

年間3.2万件

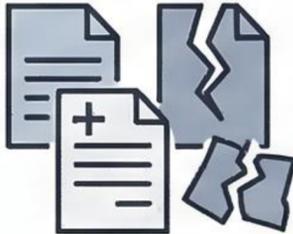
国内引き継ぎ関連インシデント (厚労省2023)

梶昌二

(厚労省AFC11)

診療時間の28%

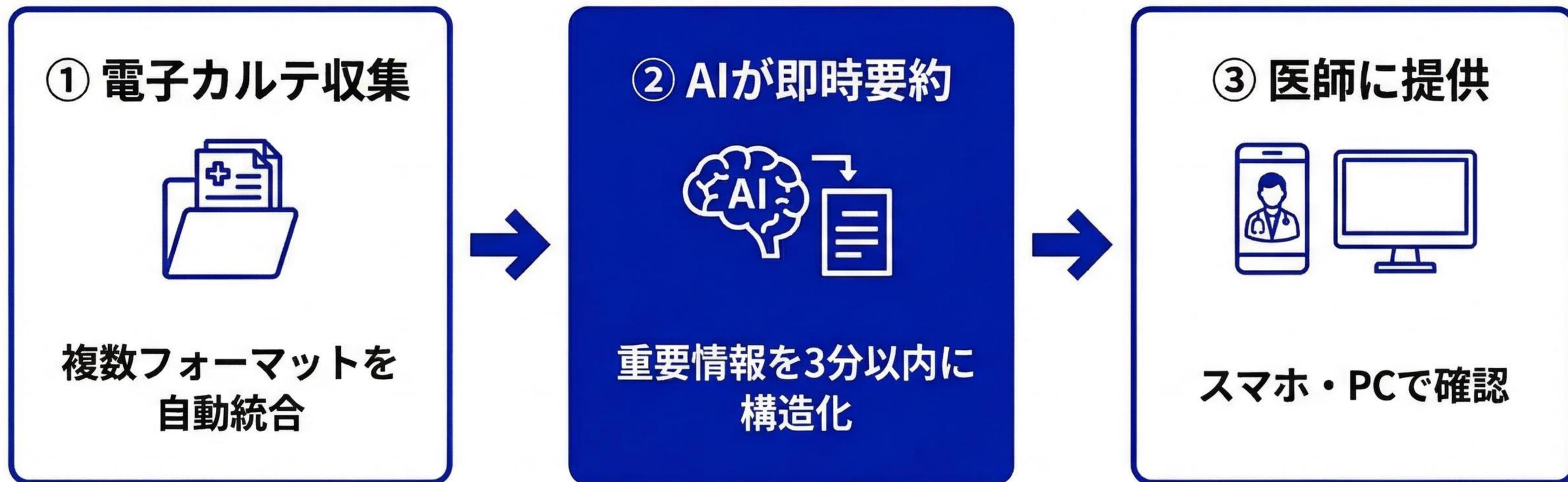
カルテ確認に費やされる医師の時間

-  複数病院間のカルテ形式がバラバラ
-  重要情報の見落としが多発
-  高齢患者の転院時に情報断絶

02

MediLinkとは何か

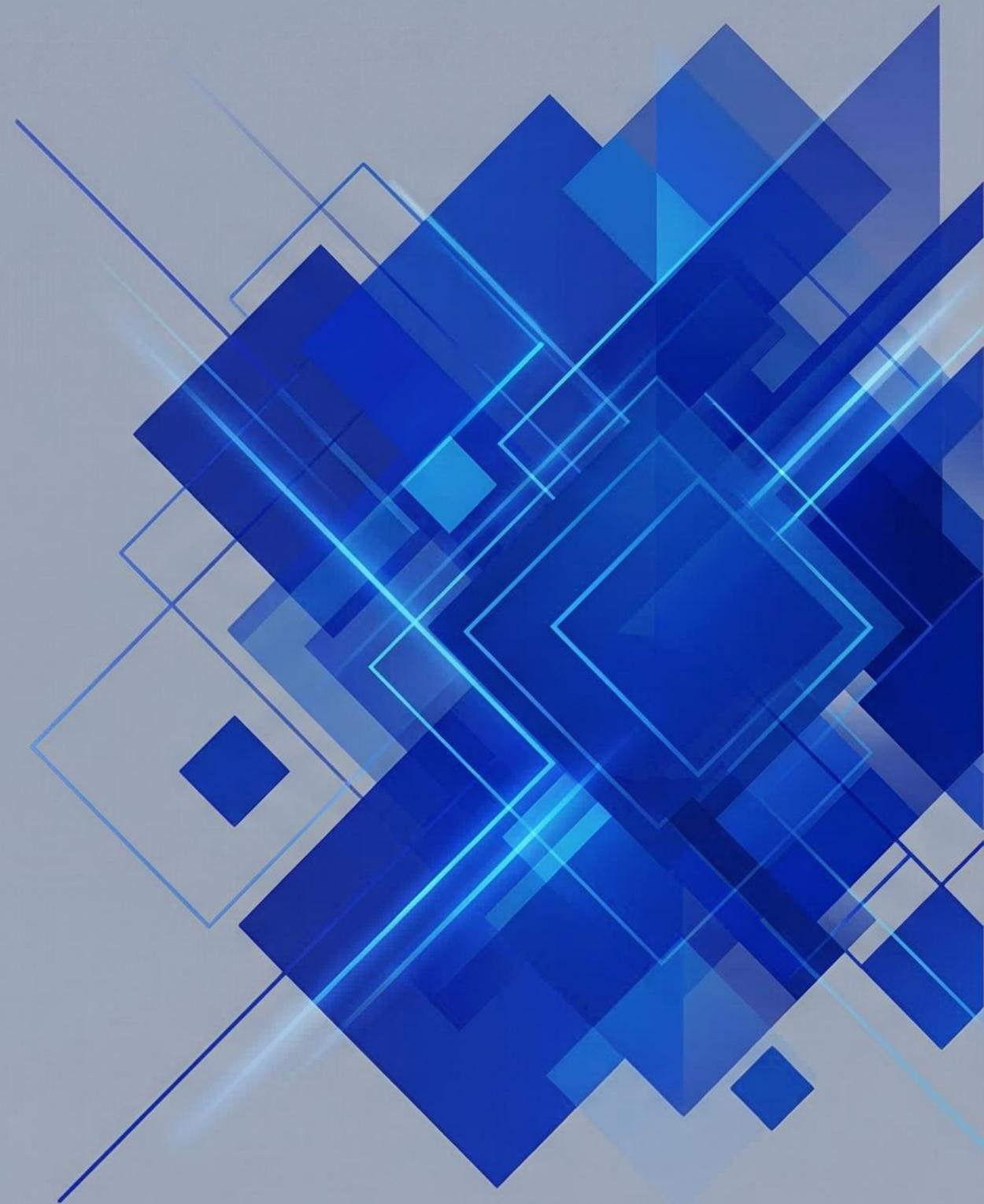
MediLink — 3ステップで引き継ぎ完結



対応フォーマット：HL7 FHIR / SS-MIX2 / 独自PDF

03

AI要約エンジンの仕組み



AI要約エンジン — 3層アーキテクチャ

データ収集層

HL7/FHIR変換、マルチフォーマット統合



AI解析層

医療特化LLM、重要度スコアリング、構造化抽出

GPT-4

配信層

API・Web・モバイル対応、ロールベースアクセス制御

REST
API

04

導入効果・実績データ



導入3ヶ月で引き継ぎミス92%削減

92%

引き継ぎミス削減率

3分以内

カルテ要約完了時間

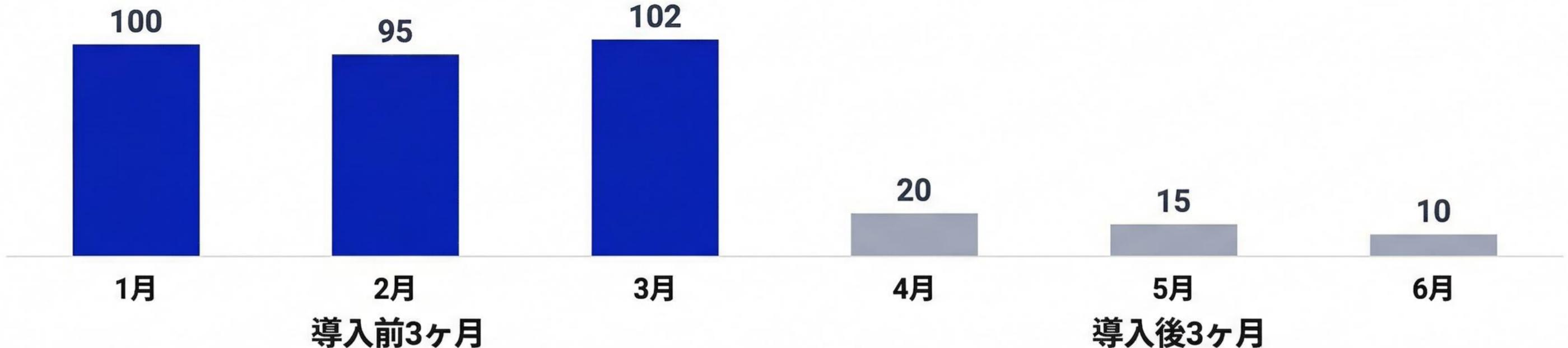
47施設

導入済み医療機関数

導入済み医療機関数

引き継ぎミス

月別引き継ぎインシデント件数推移



05

料金プランと導入ステップ



料金プラン

	おすすめ	
スターター ¥98,000/月	スタンダード ¥298,000/月	エンタープライズ 要問合せ
 ~5施設連携	 ~20施設	 無制限
 基本要約	 高精度要約	 専任CSM
 メールサポート	 優先サポート	 オンプレ対応
	 APIアクセス	

初期費用：¥500,000～（要件定義・実装込み）

導入ステップ



まずは無料デモを申し込む — contact@medilink.jp

TEKION Group